

リリースノート—AJA Mac Plug-ins for Adobe v10.5

全般

AJA Mac Plug-ins for Adobe v10.5は、KONAシリーズとIo 4K、Io Express、Io XT、T-TAPへの新機能の追加と既知問題への修正が行われています。

動作環境

- ・ Mac OS X 10.9 (Mavericks)、または10.8 (64bit カーネルモードで動作している必要があります)
- ・ QuickTime™ 7.6 以上
- ・ KONA シリーズ、Io Express、Io XT、T-TAP v10.4.8 ドライバ以降
- ・ Premiere Pro CS6/CC, AfterEffects CS6/CC, Photoshop CS6/CC, Prelude CS6/CC, Encore CS6/CC, Speed Grade CC (いずれも最新バージョンへのアップデートを推奨します)

新機能

- ・ Io 4Kサポート

修正点

- ・ After Effects アルファチャンネル対応の不具合を修正

既知の問題

- ・ システムのスリープは、KONAおよびIoデバイスで使用時にすべきことではありません。スリープモードをオペレーティングシステムの設定で無効にする必要があります。
- ・ KONAおよびIoのCore Audioドライバは、ボイスオーバーツールを使用する場合を除いてPremiere Proでは使用されていません。Premiere Proで音声出力の設定の詳細については、AJAのAdobeプラグインのマニュアルを参照してください。

- ・ lo Expressを、Bootcamp+Windowsを使用してMacBook Pro 8,2またはそれ以前のバージョンで使用することは推奨されていません。lo Expressは、Mac Pro、またはMacBook Pro8,3上で動作するBootcamp+Windowsで動作します。
- ・ クラッシュキャプチャにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャすることは出来ません。
- ・ VFRにプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・ HD-SDI経由のクラッシュキャプチャおよびプリントにおいてVaricamフレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャやバッチキャプチャは行えません。
- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目202"ID SEL"が "OTHER"に設定されていることを確認してください。
- ・ デッキ制御において3秒以下のプリロールは推奨しません
- ・ Premiere Proのモニタ設定のデフォルトは"最初のフィールド"となっています。インターレースを正しく表示するには"両方のフィールド"を選択してください。
- ・ Premiere Proのキャプチャウィンドウを開いた状態で、デッキのテープがDFからNDFに変更された場合、DF/NDFステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Proのキャプチャウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
- ・ Panasonic D5デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソースの設定をLTC+VITCにしなければなりません。

バージョン履歴

10.4.8 - Release Date: October 24, 2013

新機能

- ・ Mac OS X 10.9(Mavericks) 対応

修正点

- ・ AJA出力デバイスの水平垂直オフセットの不具合を修正

10.4.5 - Release Date: June 17, 2013

新機能

- ・ Adobe Premiere Pro CC, After Effects CC, Photoshop CC, and Speed Grade CCをサポート
- ・ Premiere Pro CCによるApple ProResキャプチャーをサポート(OS X 10.8環境のみ)
- ・ 新しいPhotoshopキャプチャープラグイン
- ・ KONA 3G, v10.4.5ドライバの4Kモードにおける4K, QuadHDキャプチャーをサポート
- ・ KONA 3G, v10.4.5ドライバの4Kモードにおける4K, QuadHD 29.97/30fpsをサポート
- ・ Premiere Proのボイスオーバー機能をサポート(PDFマニュアル参照)
- ・ 16チャンネルオーディオに対応するデバイスを使用したPremiere Proでの16チャンネルオーディオキャプチャをサポート(KONA 3, KONA 3G, lo XT)
- ・ 16チャンネルオーディオに対応するデバイスを使用したPremiere Pro CCでの12チャンネルオーディオエクスポートをサポート(KONA 3, KONA 3G, lo XT)

- ・ AJA Transmitプラグインの”マッチコントロールパネル”モードを用意
- ・ After Effectsプラグインに”Disable”チェックボックスを追加。これによりプラグインをアンインストールすることなくAJAハードウェアを遮断することが可能となります。

修正点

- ・ Premiere Proで720pキャプチャー時にコマ落ちする問題を修正
- ・ Premiere ProでDVCPProHD, CineFormキャプチャー設定を使用してキャプチャーした場合、実際には圧縮されないファイルが作成される問題を修正
- ・ AJAコントロールパネルで720p, 2Kモードを選択するとき、After Effectsがクラッシュする問題を修正
- ・ After EffectsからのRAMプレビューパフォーマンスの向上
- ・ Premiere Proのテープへ書き出しにおける”Print to Video”を修正
- ・ Premiere ProとKONA LHiの1080p50/59.94/60 キャプチャー機能を修正
- ・ Premiere ProでDNxHDキャプチャーする際のオーディオ クリックノイズ問題を修正
- ・ Premiere Proのオーディオのみのインサート編集における問題を修正
- ・ Premiere Proでキャプチャしたファイルに”Compressor Info”のメタデータ・フィールドを追加
- ・ AJA Transmit プラグインがより正確に720pのシーケンスを検出し、AJAハードウェアを設定するようPremiere Proのマッチシーケンス機能を修正
- ・ Premiere ProのSDI エンベデッド タイムコードが常にノンドロップフレームである問題を修正
- ・ Premiere Proでテープへ書き出し中、作業をキャンセル出来ない問題を修正
- ・ Premiere Proでユニコードキャラクタを含むファイル名のキャプチャーにおける問題を修正
- ・ Premiere Proでlo Expressを使った非圧縮キャプチャーにおける問題を修正
- ・ Premiere Proでビデオキャプチャ終了後、キャプチャウィンドウが空白になる問題を修正
- ・ Premiere Proのタイムラインで再生停止を繰り返した際、A/Vシンクが断続的に外れる問題を修正
- ・ Premiere ProでCineformコーデックを使用したバッチキャプチャーにおける問題を修正
- ・ Premiere Proでバッチキャプチャーの際、1つのクリップがコマ落ちや失敗する問題を修正

10.4.1 - Release Date: October 9, 2012

新機能

- ・ Premiere ProによるDNxHD 145コーデックキャプチャ機能を追加(QuickTime .mov Wrapper)
- ・ T-TAPによるAdobe CS6 on Macアプリケーションのサポート
- ・ 接続されたデッキのラスタサイズ、フレームレート、ドロップ/ノンドロップフレームステータスの自動検知機能を追加。この自動検出機能はAJAデバイスコントロールダイアログのデフォルト設定です。ユーザーはキャプチャ、プリント時にこれらの項目を設定する必要はありません。これらの設定は手動で設定することも可能です。

NOTE: Premiere Proのキャプチャウィンドウを開いた状態でデッキのテープがDFからNDFに変更された場合、DF/NDFステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Proのキャプチャウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。

- ・ 1回のPremiere Proキャプチャセッション中に、同一デッキでDFとNDFテープの変更がされない限り、この問題はユーザーに影響しません。
- ・ 回避方法：テープを変更したときに表示される”テープ名”ダイアログにおいて、”OK”ボタンをクリックする前に、新しいテープをスプールするようにしてください。

- ・修正方法：キャプチャウィンドウを閉じて、再度開きます。
- ・Photoshop、AfterEffectsのプラグインの変更。フレームレート、フレームバッファ、カラスペースの設定はAJAコントロールパネルで行います。
- ・Premiere Proによる音声のみ、映像のみのキャプチャに対応
- ・Premiere Proからのクローズドキャプション(CC)出力に対応。Premiere Proのクローズドキャプション機能の使用方法については、Adobe Premiere Proのマニュアルを参照してください。最高のCCのパフォーマンスを得るには、8ビットのYUV設定を使用します。
- ・Adobe Premiere Pro 6.0.2 on Mac対応
- ・Io Expressを使用したAfterEffects CS6 RAMプレビューにおいて、1080i29.97モードの再生速度を劇的に向上。8-bit YUV出力モードでは6fps程度からリアルタイムに、10-bit YUV出力モードではほぼリアルタイムに向上。

修正点

- ・Premiere Proにおいて、SDおよびDVの16x9シーケンスを正しく出力出来ない問題を修正
- ・オーディオの出力マッピングをPremiere Proのオーディオマッピングで設定できるように修正
- ・“Match Sequence”モードにおいて、AJAコントロールパネルのP/PsFフォーマット設定が優先されます。例えば、AJAコントロールパネルのデフォルトプログレッシブフォーマット設定は“use PsF format”となっています。Premiere Proでプログレッシブシーケンスを使用する場合、AJA Transmit Plug-insは自動的にフレームレートと解像度を一致させ、“Psf”モードでのSDI出力を行います。“P”モードの出力する場合は、AJAコントロールパネルで“Use P Formats”を選択します。
- ・Premiere ProのExport to Tapeダイアログにデッキの状態を示すメッセージを追加
- ・オーディオが出力されなくなる問題を修正
- ・KONA 3、KONA3G、およびIo XTを使用してAfter EffectsとPhotoshop CS6でのビデオ+キー（V + K）出力機能を修正
- ・AfterEffects CS6がクラッシュする問題を修正
- ・24fpsモードにおいて誤ったタイムコードをキャプチャする問題を修正
- ・Io XTをPremiere Proで使用した場合、RGBキャプチャが出来ない問題を修正
- ・LHiのアナログ入力を使用してアップコンバートキャプチャを行う際の不具合を修正
- ・バッチキャプチャクリップが断続的に途切れる問題を修正
- ・8ビットRGBA QuickTimeファイルのキャプチャにおける問題を修正
- ・ダウンコンバートキャプチャを行った際の不具合を修正
- ・AfterEffects CS6からYUVプレビューモードで出力する際の不具合を修正
- ・Premiere ProでJKLキーによるオペレートをしたとき、オーディオが出力されなくなる問題を修正
- ・Premiere Proでテープへの書き出し
- ・Premiere ProにおけるKi ProからのIn-to-outキャプチャ、バッチキャプチャ時の問題を修正
- ・キャプチャ解像度がPremiere Proのシーケンス/タイムラインの解像度と一致していなければならない問題を修正。AJAのキャプチャプラグインはPremiere Proでシーケンスの解像度に関係なく、任意の解像度にロックします。
- ・AJA デバイスコントロールパネルでタイムベースを変更するとキャプチャーに失敗する問題を修正
- ・Panasonicのデッキを使用する際に起こる問題を修正
- ・2トラック以上のオーディオを用いてテープへの書き出し時を行う際の不具合を修正
- ・ソースモニタで映像を再生しながらタイムラインをクリックするとPremiere Proがクラッシュする問題を修正
- ・タイムラインの再生中にCTIをドラッグするとオーディオの損失を引き起こす可能性問題を修正

- ・ lo XTの使用において、キャプチャーウィンドウのデスクトッププレビュー不具合を修正
- ・ AfterEffectsとPhotoshopから出力におけるの色問題を修正
- ・ デバイスコントロールのプリロールを3秒に変更
- ・ Photoshop ExportダイアログのCPU不可に関する問題を修正

対応製品

以下の製品は、この最新版によってサポートされます。

- ・ KONA 3G
- ・ KONA 3
- ・ KONA LHi
- ・ KONA LHe Plus
- ・ lo 4K
- ・ lo XT
- ・ lo Express
- ・ T-TAP